小さな「できた！」を、共に積み上げる。

アイデンドが実践する、伴走支援の哲学と現場のリアル



NotebookLM

変化は「大きな出来事」からは生まれない。

支援の現場で私たちが確信していること。
それは、変化は「小さな達成」の積み重ねで起きるということです。



いきなり完璧を目指す必要はありません。
今の状態に合わせた調整から始めるのが、最も実践的で確実なアプローチです。

NotebookLM

「正解を教える」のではなく、「一緒に育てる」。

正解を教える



一緒に育てる



利用者さんの歩幅に合わせ、できる経験を重ねること。
これが、結果的に「長く働き続ける力」につながります。

NotebookLM

「できた！」を育てる3つの基本姿勢



BIZ UDPGothic
小さな達成を見逃さず
言語化する



BIZ UDPGothic
失敗を責めず
次の一手に変える



BIZ UDPGothic
個人支援をチームで
共有し継続性を作る

NotebookLM

姿勢１：言葉がけは「抽象」から「行動ベース」へ

最初に見るのは「できないこと」ではなく「今できていること」。
時間通りに来た、挨拶できた、相談できた。その小さな土台を言葉で確認します。

NG

「今日も一日、
頑張ったね」



OK

「今日は迷った時に、
自分から確認できたね」



[支援員の視点] 評価を具体的な「行動」として伝えることで、
本人のなかに再現できる成功体験として残ります。

NotebookLM

姿勢2：「崩れない支援」より「崩れても戻れる支援」を

調子を崩す日があるのは自然なこと。私たちは失敗を責めません。
原因を分解し、手順を修正する「次の一手」に変換します。

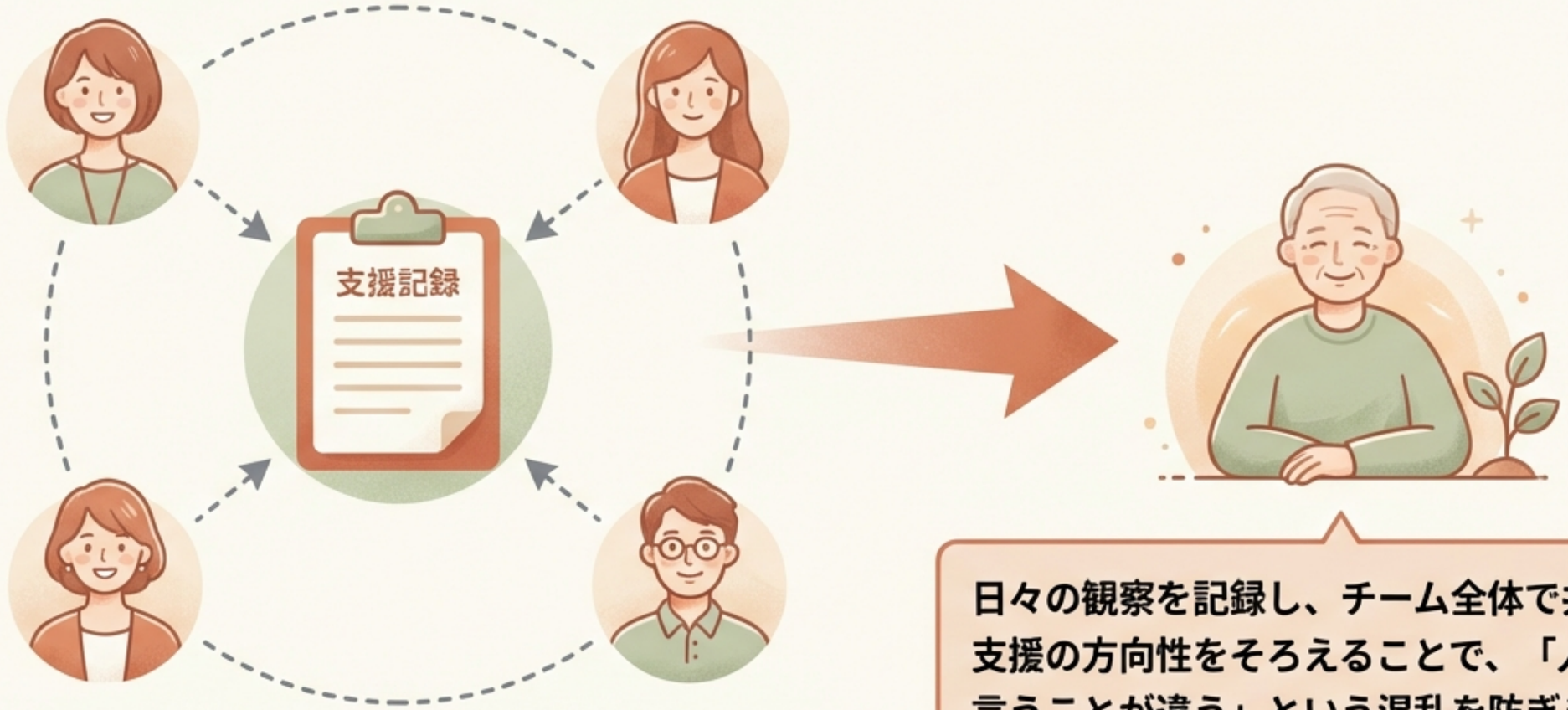


- 失敗が続いたときは、手順を小さく分解し直すことで、再び安定するケースがほとんどです。

NotebookLM

姿勢３：支援は担当者一人で完結させない

誰が関わっても同じ支援が続く状態。それが利用者さんの最大の安心感に繋がります。



日々の観察を記録し、チーム全体で共有。
支援の方向性をそろえることで、「人によって言うことが違う」という混乱を防ぎます。

NotebookLM

実例：支援方針の統一で、通所が安定したケース

悩み

担当によって
声かけが異なり、
本人が混乱・
不安に。



変化

支援記録を統一し、
フィードバック
の言葉をチーム
で揃える。



結果

本人の不安が減り、
作業に集中。
通所が安定。



NotebookLM

あなたは当てはまる？ セルフチェック

今、どこに不安や負担があるかを見つけるためのリストです。
1つでも当てはまれば、それは次の行動を起こす十分な理由になります。

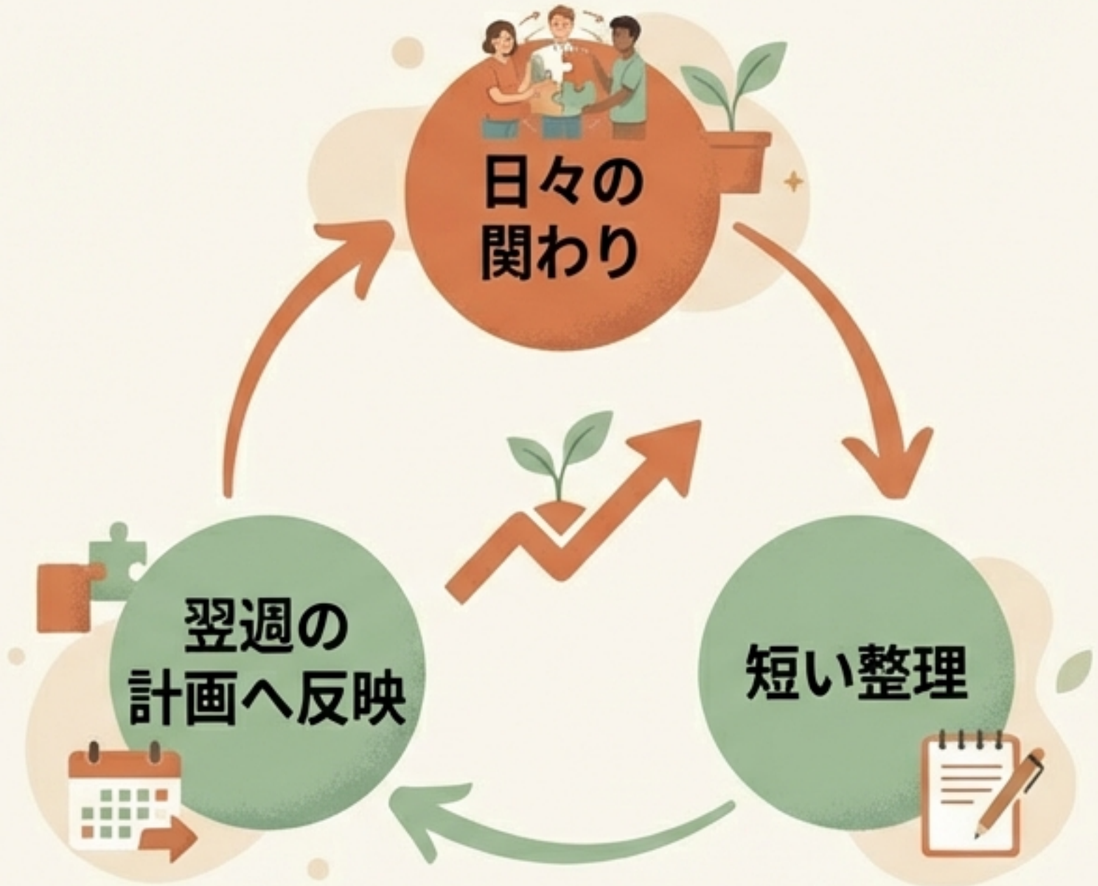
- [ ] 支援の具体的な関わり方を知りたい
- [ ] 安心して相談できる場を探している
- [ ] 自分のペースをしっかり尊重してほしい
- [ ] 小さな変化や努力を丁寧に見てほしい

気になる項目がありましたか？
それが、あなたに合った環境を探すための「調整材料」になります。

NotebookLM

アイデンドの現場から：努力を見える形に

利用開始時期は特に、できた点と難しかった点を短く整理し、翌週の支援計画に即座に反映します。





支援員より

「支援員として一番うれしいのは、『自分でも変われた』と利用者さんが言えた瞬間です。
その実感を少しでも増やせるよう、日々の関わりを丁寧に続けています。」

NotebookLM

支援を“制度”から“関係”に変える14日間

言葉にした支援は、個人技で終わらず、チームの力に変わります。
アイデンドが実践する「関わりの言語化」ステップ。

Step 1（1〜3日目）

支援でうれしかった
瞬間を「1件だけ」
書き出す。

Step 2（4〜7日目）

その場面で自分が
意識した関わりを
「3つ」に分解する。

Step 3（8〜14日目）

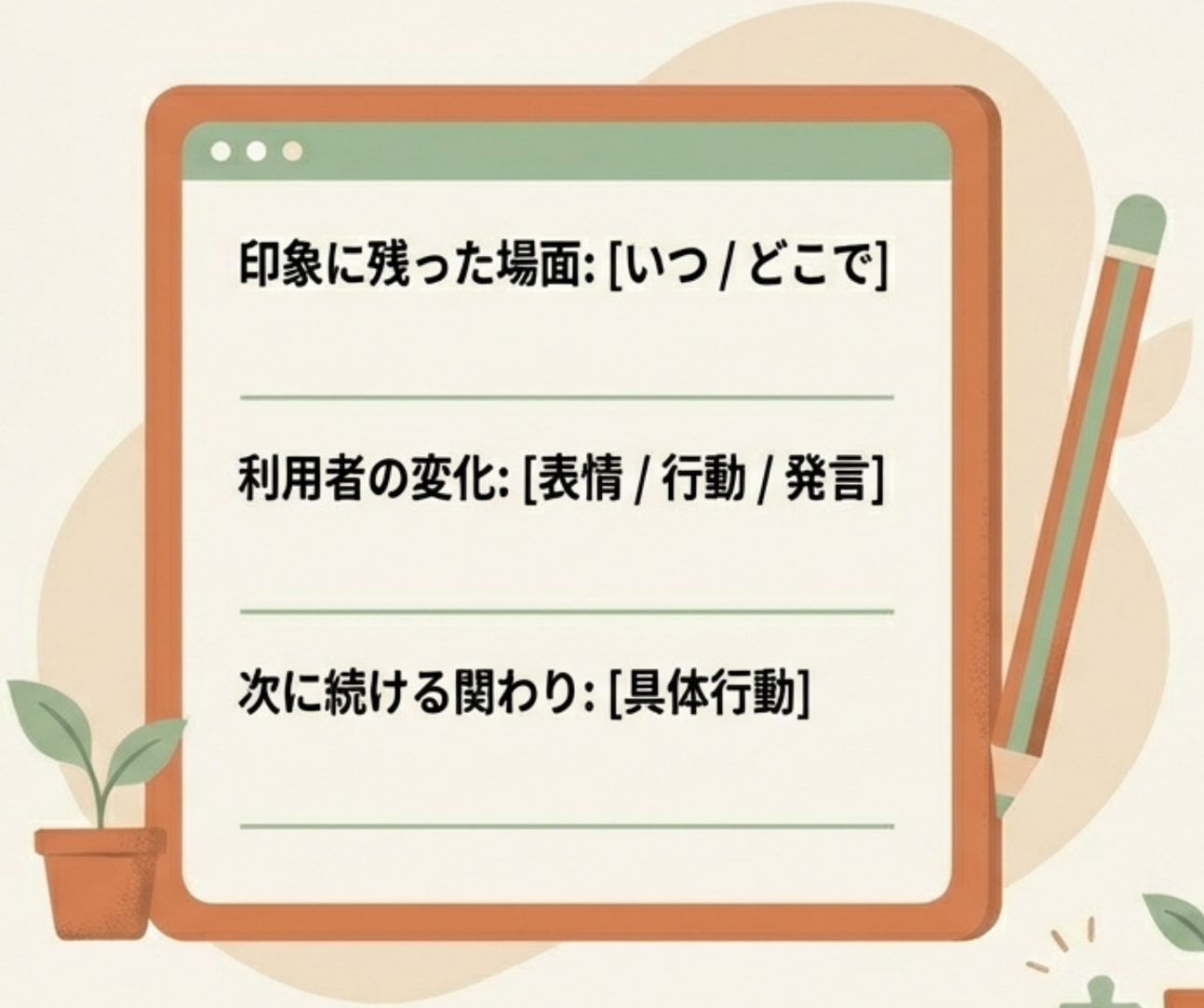
チーム内で共有し、
次の支援に活かす
「共通言語」を作る。



NotebookLM

チームの力に変わる「振り返りメモ」のフォーマット

このフォーマットで日々の
観察を記録することで、
誰もが同じ品質の伴走支援を
提供できる土台を作っています。



NotebookLM

よくあるご質問（不安を解消するために）

Q. 支援員との相性が不安です。



A. 相性の不安は自然なことです。面談方法の工夫や、担当調整の相談が可能ですので、早めにお伝えください。

Q. 失敗が続いたときはどうなりますか？



A. 誰にでも失敗が続く時期はあります。原因を一緒に分解し、手順を修正することで再び安定できるようサポートします。

Q. 口頭で相談しづらいときは？



A. メモやチャットなど、話しやすい手段を使ってください。伝え方を工夫するだけで、支援はよりスムーズになります。

NotebookLM

小さな前進を積み上げる方が、結果的に強い。

- ✔ 小さな達成を具体的に評価する
- ✔ 失敗を次の行動に変える
- ✔ チームで支援の一貫性を作る



見学や相談にお越しになる際は、ぜひ「支援方針の共有方法」や「面談の進め方」をご確認ください。無理を重ねず、あなたのペースで一歩を踏み出せる環境がここにあります。

NotebookLM